

道路施設の維持管理に関する
市民アンケート調査

報告書 概要版

令和3年4月

調布市

目次

1. 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査対象及び調査方法	1
2. アンケート調査結果	2
2.1 回答者の属性.....	2
2.2 現在の調布市道の状況に対する市民の意識について	3
2.3 市内の道路施設の老朽化に関する市民の意識について	9
2.4 調布市道の維持管理に関する市民の満足度について	14

1. 調査概要

1.1 調査目的

道路施設の維持管理全般に関する市民の現状認識や市民ニーズの傾向を捉えることにより、今後の計画づくりと道路行政に活用します。

1.2 調査対象及び調査方法

表 1-1 調査対象及び調査方法

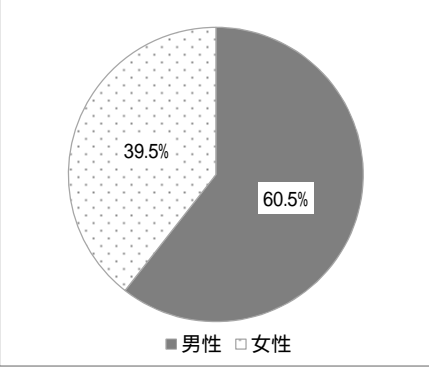
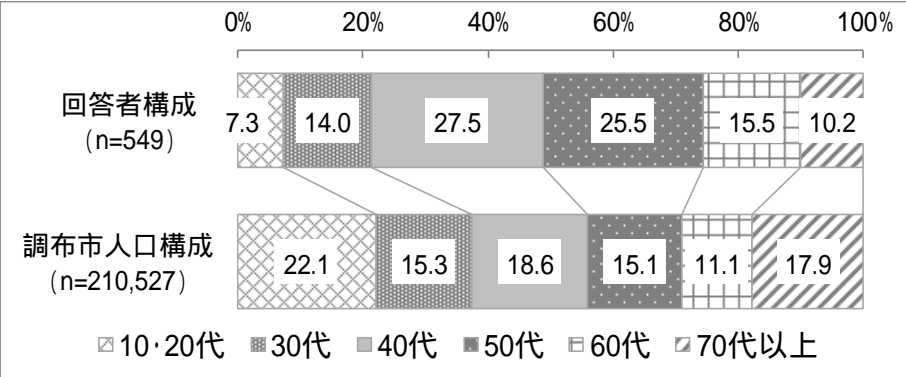
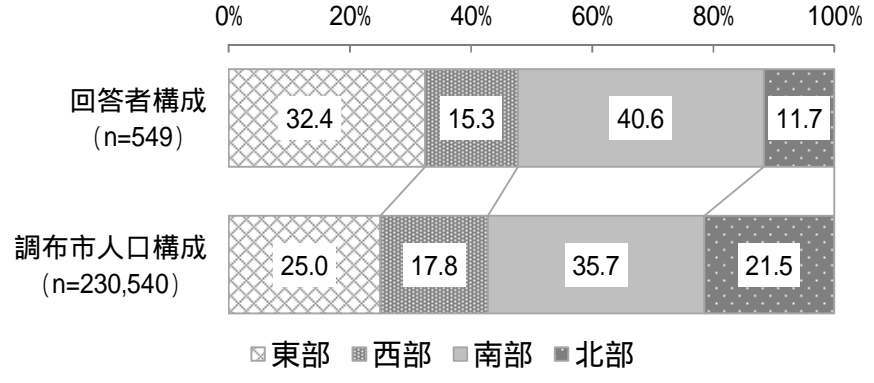
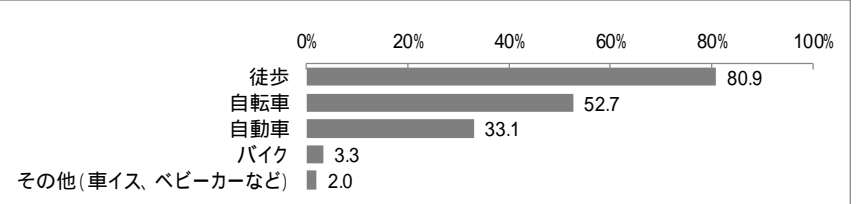
項目	調査対象及び調査方法
調査対象	調布市民
回収サンプル数	550
調査方法と回収方法	「市報ちょうふ」および市ホームページに調査票を掲載し回答された調査票を回収 市役所 2 階総合窓口及び市役所 7 階エレベーターホール付近に調査票を配架し、回収箱にて回収 アンケート調査会社にモニターとして登録している調布市民を対象に調査票を掲載し回答された調査票を回収
調査時期	令和 2 年 11 月 20 日～12 月 21 日

本報告書の基本的な事項

- 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下 2 位を四捨五入して算出しています。従って、合計が 100%にならない場合や、内訳の合計が表示されている値と一致しない場合があります。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1 人の回答者が 2 つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は 100%を超える場合があります。

2. アンケート調査結果

2.1 回答者の属性

回答者の属性	
性別	<p>男性が約 6 割，女性が約 4 割を占めている。</p>  <p>■ 男性 □ 女性</p>
年齢	<p>回答者の年齢は，40代が最も多く，次いで50代，60代の順となっている。</p>  <p> 回答者構成 (n=549): 10・20代 7.3, 30代 14.0, 40代 27.5, 50代 25.5, 60代 15.5, 70代以上 10.2 調布市人口構成 (n=210,527): 10・20代 22.1, 30代 15.3, 40代 18.6, 50代 15.1, 60代 11.1, 70代以上 17.9 </p> <p> □ 10・20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 □ 60代 ▨ 70代以上 </p>
居住地域	<p>回答者の居住地域は，南部が最も多く，次いで東部の順となっている。</p>  <p> 回答者構成 (n=549): 東部 32.4, 西部 15.3, 南部 40.6, 北部 11.7 調布市人口構成 (n=230,540): 東部 25.0, 西部 17.8, 南部 35.7, 北部 21.5 </p> <p> □ 東部 ■ 西部 ■ 南部 ■ 北部 </p>
主な移動手段	 <p> 徒歩 80.9 自転車 52.7 自動車 33.1 バイク 3.3 その他(車イス、ベビーカーなど) 2.0 </p>

2.2 現在の調布市道の状況に対する市民の意識について

問5) あなたが普段利用する調布市道で、工事を見かける際どの程度気になりますか

市道上で行われている工事に対する意識は、「とても気になる」と「少し気になる」と回答した方を合わせると、全体の約7割が調布市道上の工事に対して気になっている。

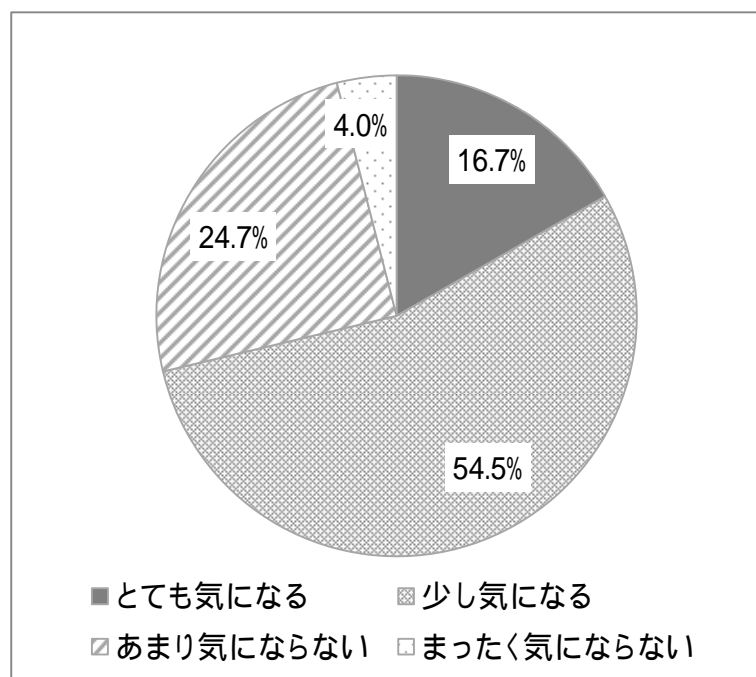


図 2-1 問5の回答結果

<居住地域別>

居住地域別の工事に対する意識に着目すると、「とても気になる」と回答した方の割合は北部が約2割と最も高くなっているが、「とても気になる」と「少し気になる」と回答した方の合計に着目すると、西部が約8割を占めている。

<年齢層別>

年齢層別の工事に対する意識に着目すると、40代以上の「とても気になる」および「少し気になる」と回答した方の割合は約7割以上となっており、工事に対する関心が高い傾向がみられる。

問6) あなたが普段利用する調布市道で、舗装やコンクリートに「ひび割れ」、構造物の「腐食・破損」などが生じていて、不安や不快を感じたことはありますか。
対象施設：市が管理している舗装（車道・歩道）、橋りょう、街路樹、街路灯など

道路施設の老朽化に対する不安や不快を感じる頻度は、「ときどき感じる」と回答した方が約4割と最も多く、「よく感じる」と回答した方と合わせると、全体の約5割が道路施設に発生している損傷に対して不安・不快に感じている。

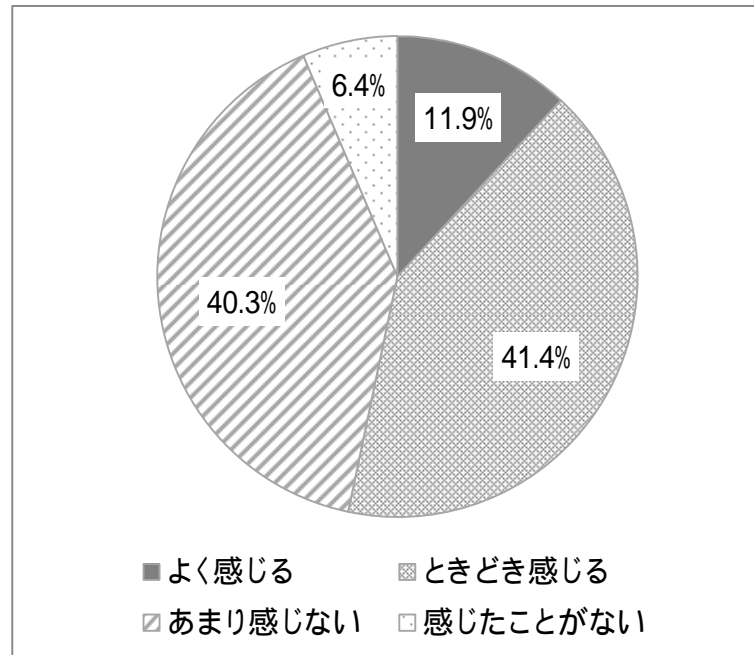


図 2-2 問6の回答結果

< 居住地域別 >

居住地域別の道路施設の老朽化に対する不安や不快を感じる頻度に注目すると、「よく感じる」と回答した方の割合は東部が約2割と最も高くなっている。「よく感じる」と「ときどき感じる」を合わせると、東部および北部の約6割の方が不安・不快に感じている。

< 年齢層別 >

年齢層別の道路施設の老朽化に対する不安や不快を感じる頻度に注目すると、60・70代以上の年齢に着目すると、「とても気になる」と「少し気になる」と回答した方の割合は約6割となっており、年齢が高いほど不安・不快に感じる頻度が高い傾向がみられる。

問 7-1) あなたが普段利用する調布市道で、次のような状況を見かけることはありますか。

「街路樹の根によって歩道に凸凹が生じている」に対する「よく見る」が最も多く、「たまに見る」と合わせると回答者の約 6 割が状況を見ると回答している。また、舗装の損傷である「亀甲状のひび割れが生じている」と「線状のひび割れが生じている」については、どちらも「よく見る」が約 1 割、「たまに見る」が約 4 割となっており、回答者の約半数が状況を見ると回答している。

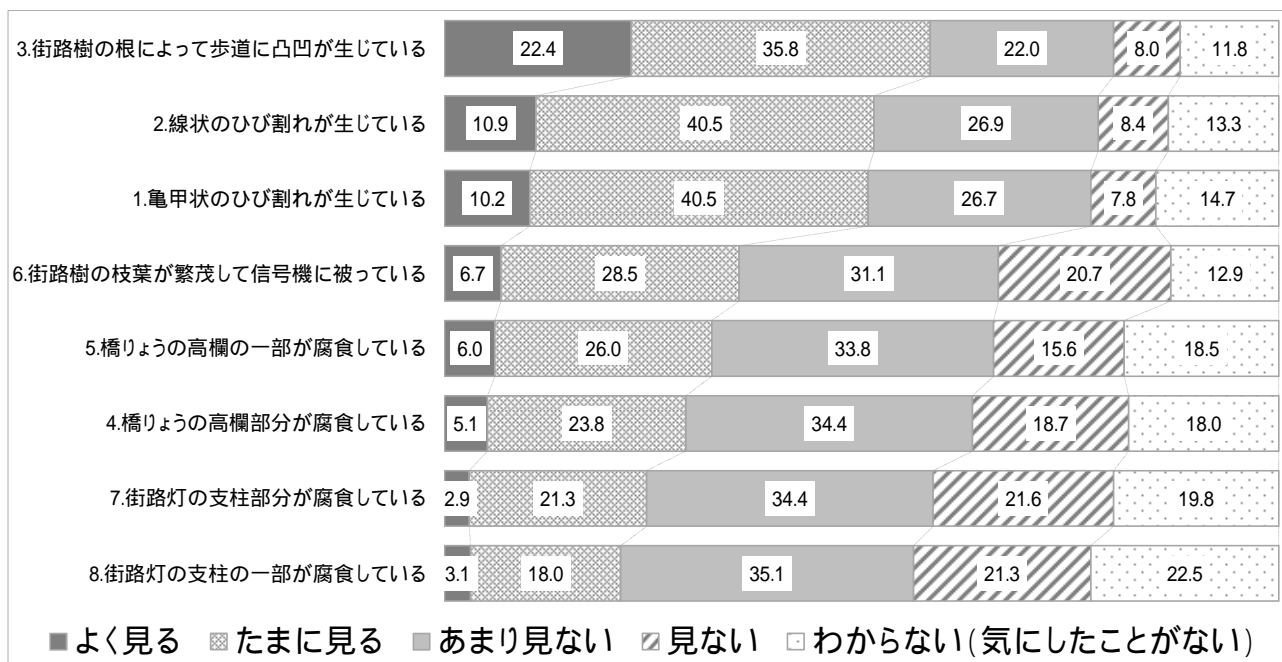


図 2-3 問 7-1 の回答結果

< 居住地域別 >

いずれの地域においても「街路樹の根によって歩道に凸凹が生じている」が最も多い。

< 移動手段別 >

路面に生じる損傷である「舗装のひび割れ」「街路樹の根あがり」に着目する。

「舗装のひび割れ」について「よく見る」と「たまに見る」と回答した主な移動手段毎の割合は、バイクが最も多く、次いで自動車、自転車となっている。

「街路樹の根によって歩道に凸凹が生じている」について「よく見る」と「たまに見る」と回答した主な移動手段毎の割合は、バイクが最も多く、ほぼ同率で自転車、次いで自動車となっている。

問 7-2) あなたが普段利用する調布市道で、次のような状況をどのように感じますか。

「街路樹の枝葉が繁茂して信号機に被っている」に対する「不満である」が最も多く、「どちらかという不満である」と合わせると全体の約 6 割が不満に感じている。また、同じく街路樹に関連する「街路樹の根によって歩道の凸凹が生じている」についても、「不満である」と「どちらかという不満である」を合わせると、全体の約 6 割が不満に感じており、不満に感じている割合としては二番目に多い。

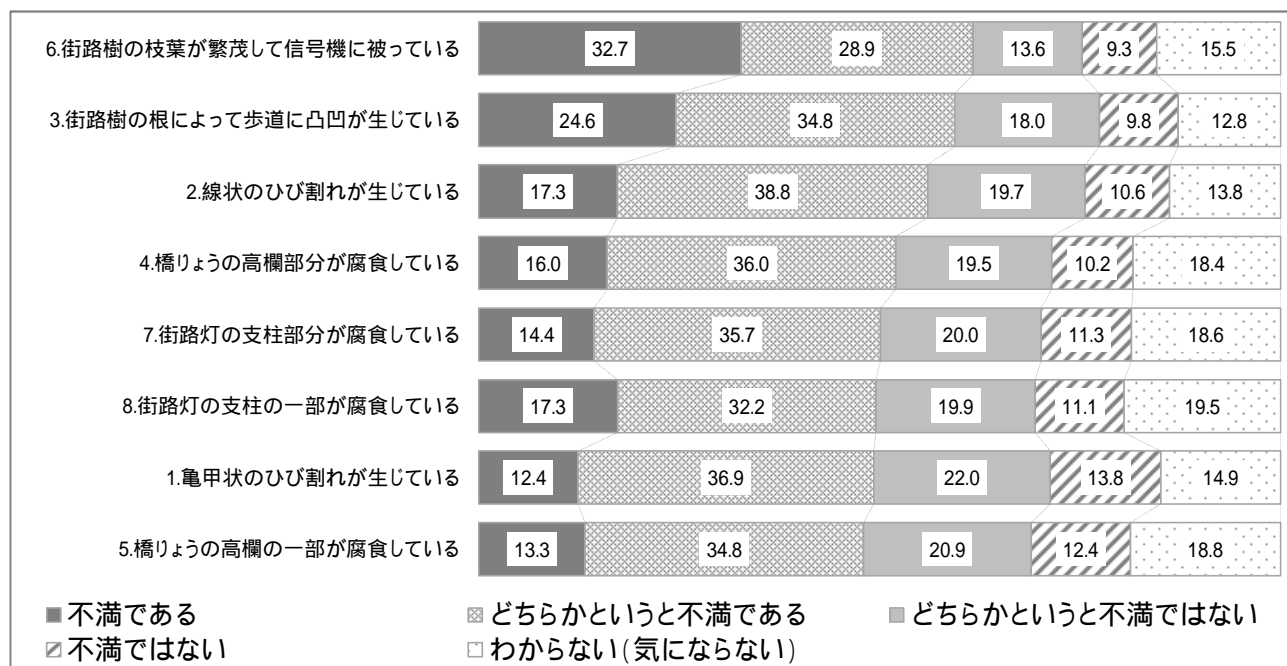


図 2-4 問 7-2 の回答結果

< 居住地域別 >

南部および北部において、「街路樹の枝葉が繁茂して信号機に被っている」が最も多い。東部は「街路樹の根によって歩道に凸凹が生じている」、西部は「線状のひび割れが生じている」が最も多い。

< 移動手段別 >

路面に生じる損傷である「舗装のひび割れ」と「街路樹の根あがり」に着目する。

「舗装のひび割れ」について「不満である」および「どちらかという不満である」と回答した主な移動手段毎の割合は、バイクが最も多く、次いで自動車、自転車となっている。

「街路樹の根によって歩道に凸凹が生じている」について「不満である」と「どちらかという不満である」と回答した主な移動手段毎の割合は、自転車が最も多く、次いで自動車、徒歩となっている。

問 8) 道路管理課が実施している調布市道の日常管理について、お伺いします。日ごろの印象を含め、対応が必要だと思う状況を最大5つまでお答えください。【複数回答】

市道の日常管理について、対応が必要だと思う状況は、舗装の凸凹を選択した方が約6割と最も多く、次いで歩道の段差が約5割、舗装のひび割れが約4割となっており、舗装に関する項目が上位3位を占めている。次いで街路樹の枝伸び、排水溝の清掃・異臭の順となっている。

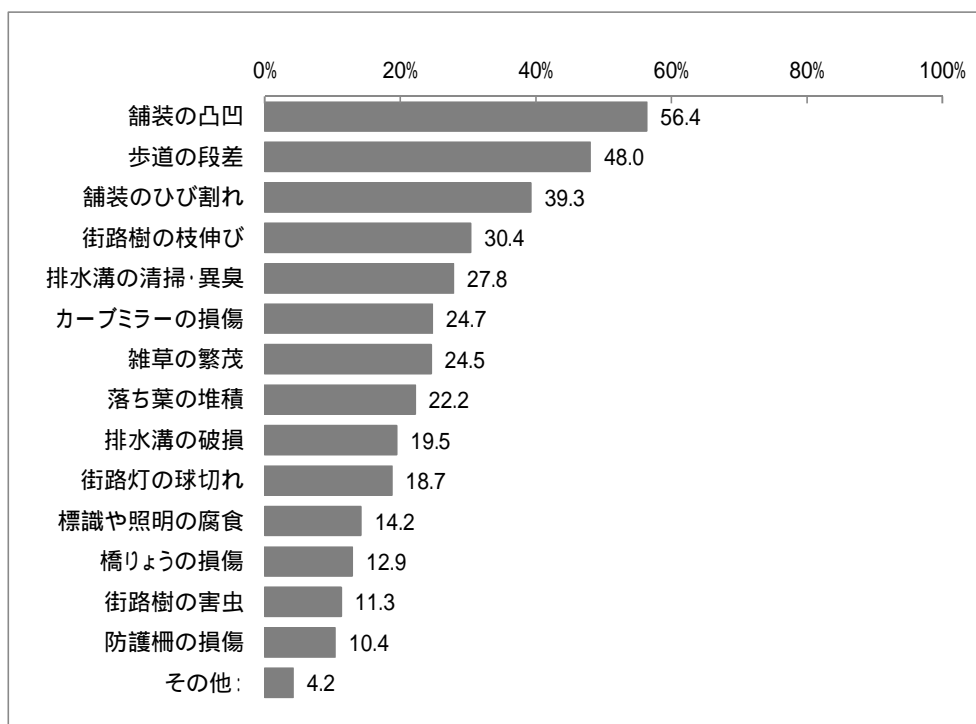


図 2-5 問 8 の回答結果

< 居住地域別 >

いずれの地域においても「舗装の凸凹」が最も多い。

表 2-1 居住地域別の対応が必要だと思う状況(回答数の多い上位5項目)

	東部	西部	南部	北部
1位	舗装の凸凹	舗装の凸凹	舗装の凸凹	舗装の凸凹
2位	歩道の段差	舗装のひび割れ	歩道の段差	歩道の段差
3位	舗装のひび割れ	歩道の段差	舗装のひび割れ	街路樹の枝伸び
4位	街路樹の枝伸び	排水溝の清掃・異臭	排水溝の清掃・異臭	舗装のひび割れ
5位	カーブミラーの損傷	街路樹の枝伸び	雑草の繁茂	雑草の繁茂

< 移動手段別 >

いずれの移動手段においても「舗装の凸凹」が最も多く、2番目に多い項目については、徒歩及びその他(車イス、ベビーカーなど)は「歩道の段差」、自転車・バイク・自動車では「カーブミラーの損傷」となっている。

問9) 大雨や台風などの自然災害が激甚化する中で、これらに備えた調布市道上の道路施設に関するメンテナンスとして、あなたが重要だと思う項目は何ですか。重要だと思う順に1~7までの数字を選択してください(同順位も可)。

重要だと思う項目のうち1位に着目すると、「道路の冠水」と回答した方が約4割と最も多く、次いで道路の陥没となっている。一方で、2位に着目すると「道路の陥没」が最も多く、次いで「道路の冠水」となっており、1位および2位を足し合わせると「道路の陥没」と「道路の冠水」がともに約6割となっている。

一方で、重要度の低い項目に着目すると、「街路灯の不点」が最も重要度が低く、次いで「附属物(標識・街路灯)の倒壊、傾き」となっている。(その他を除く)

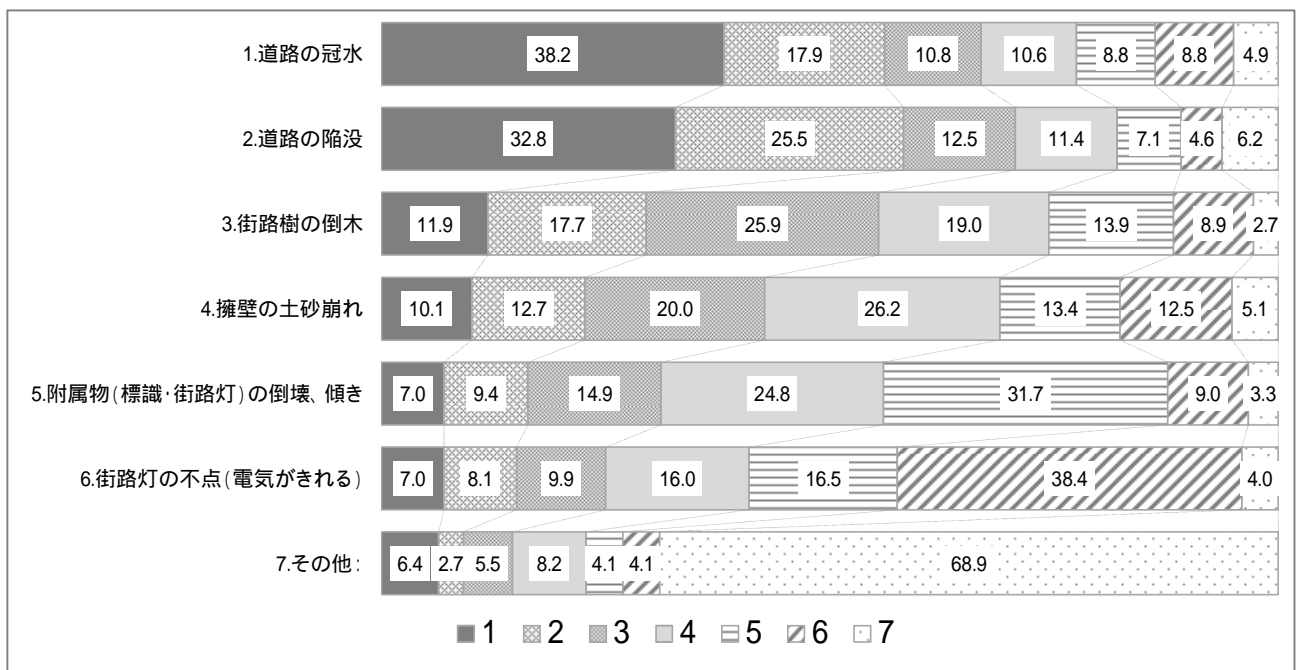


図 2-6 問9の回答結果

<居住地域別>

いずれの地域においても、道路の冠水、道路の陥没の項目が上位2つを占めている。この理由としては、近年、大型台風の上陸や記録的な大雨の発生頻度が増加傾向にあることが影響していると考えられる。

2.3 市内の道路施設の老朽化に関する市民の意識について

問 10) 市が管理している道路施設（舗装，橋りょう，街路樹，街路灯など）の多くは，高度経済成長期に集中的に建設したことから，老朽化が進んでいきます。あなたは，このような状況をご存知ですか。

「少し知っている」と「よく知っている」の合計を合わせると，全体の約 6 割が道路施設の老朽化について認知している。

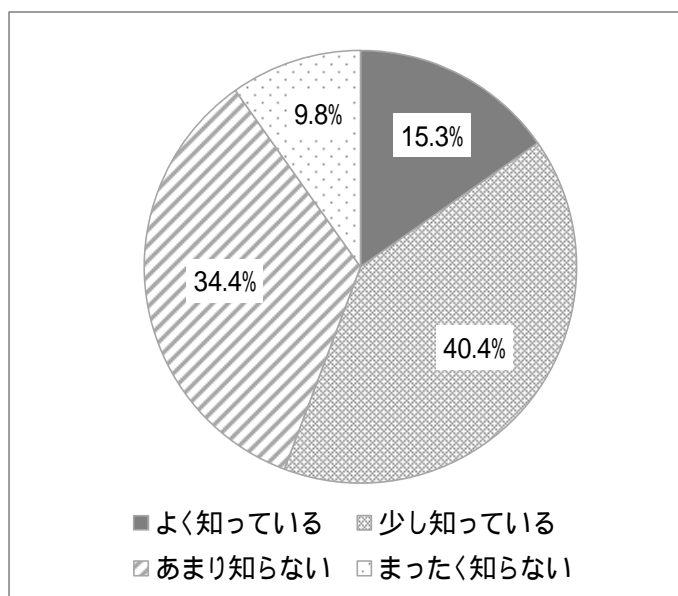


図 2-7 問 10 の回答結果

<年齢層別>

年齢層別に着目すると，年齢が高くなるほど道路施設の老朽化に対する認知度が高い傾向がみられる。

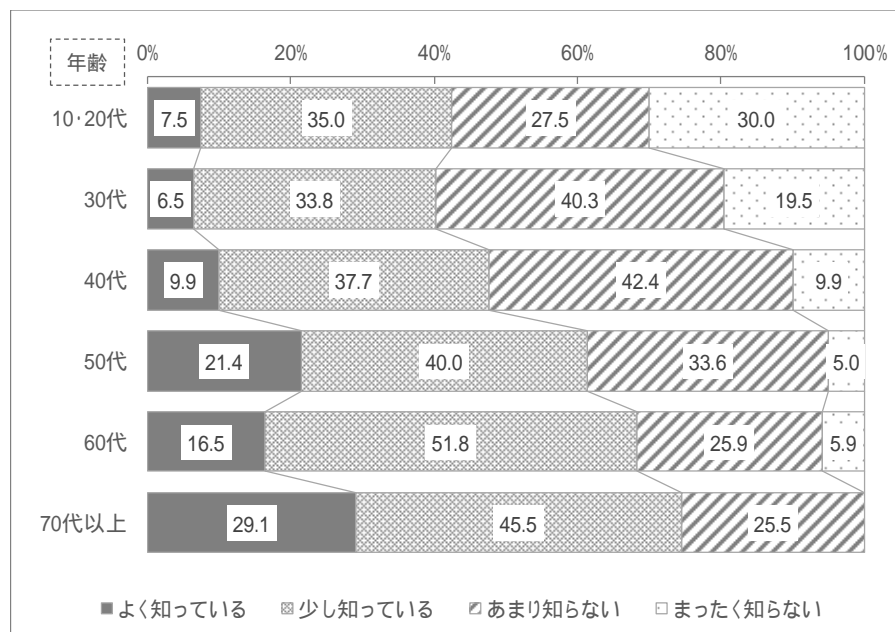


図 2-8 年齢層別の道路施設の老朽化に対する認知度

問 11) あなたが普段生活するなかで、道路施設の老朽化について意識したり、考えたりしたことはありますか。

「どちらかという意識していない」が最も多く、「意識していない」と合わせると、全体の約 5 割が道路施設の老朽化について意識していないという結果となっている。

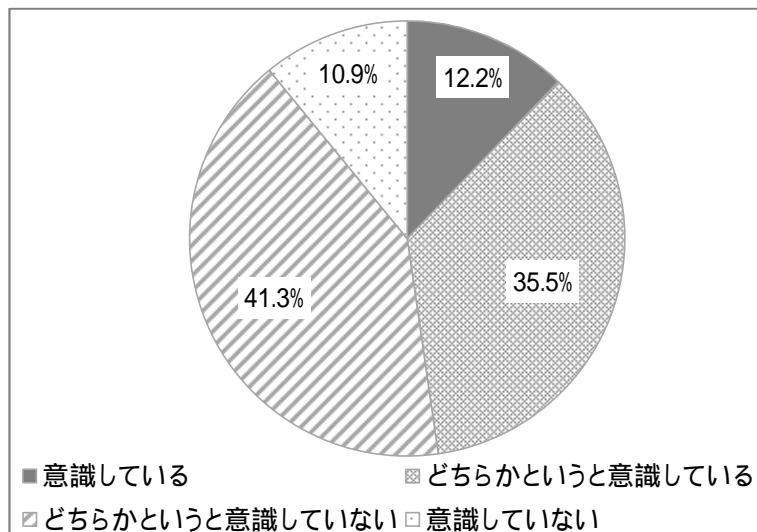


図 2-9 問 11 の回答結果

< 年齢層別 >

年齢層別に着目すると、若い世代ほど道路施設の老朽化に対して意識していない傾向がみられ、問 10 に対する回答結果とほぼ同傾向といえる。

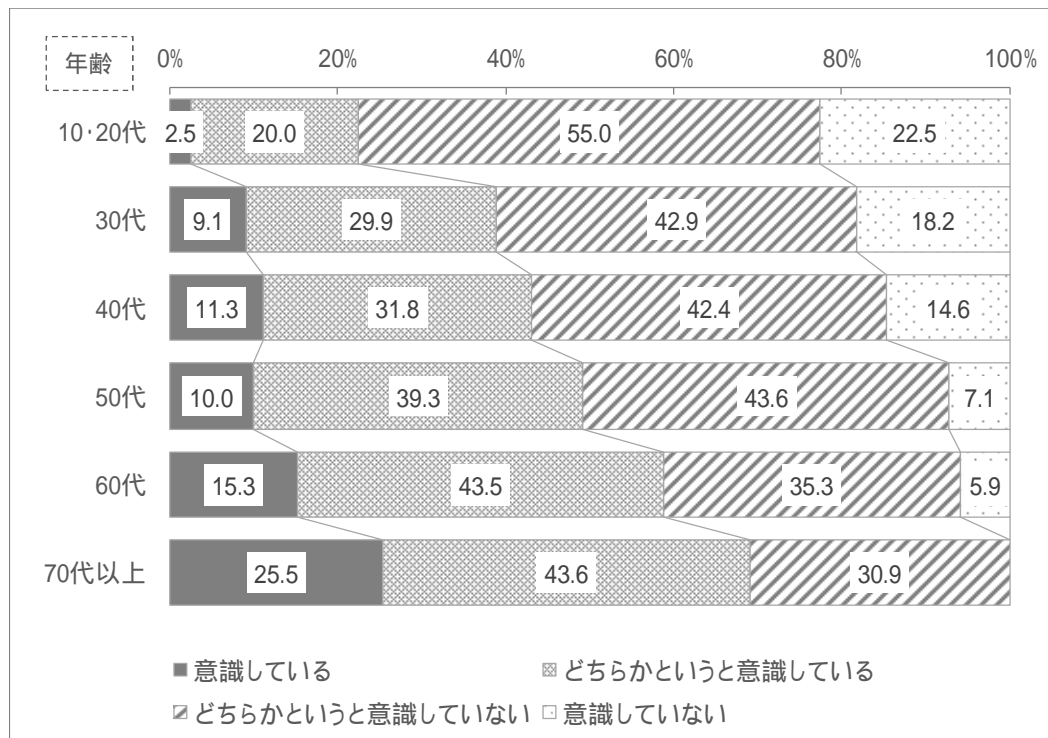


図 2-10 年齢層別の道路施設の老朽化に対する意識

< 移動手段別 >

主な移動手段別に着目すると、バイクおよび自動車における「意識している」と「どちらかという意識している」の割合が約6割となっている。また、その他（車イス、ベビーカーなど）については、他の移動手段と比較すると道路施設の老朽化に対する意識は低い傾向がみられる。

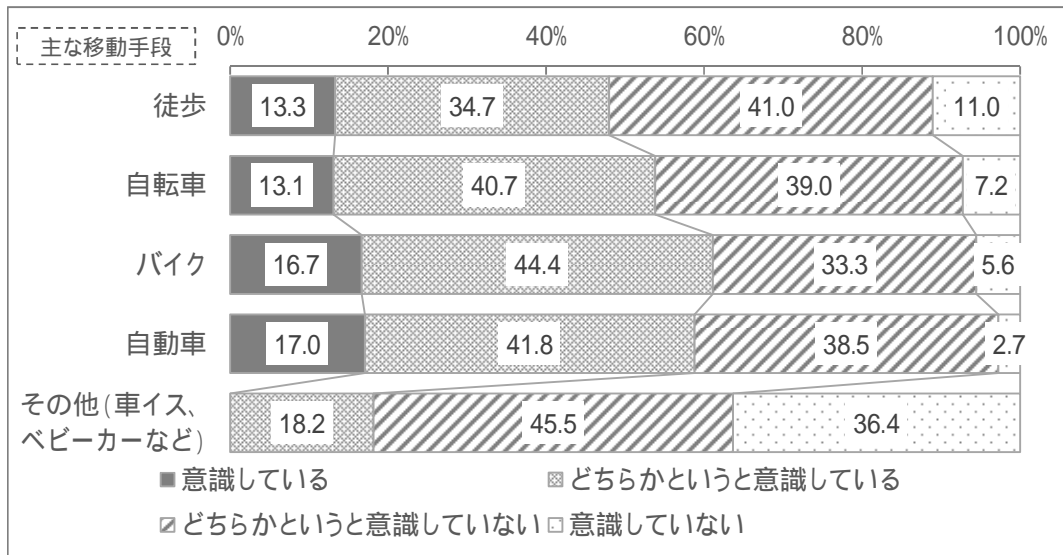


図 2-11 移動手段別の道路施設の老朽化に対する意識

問 12) 市では、老朽化する道路施設を、今後効率的に管理していくためには、計画的・効率的な維持管理による道路施設の長寿命化が必要だと考えています。老朽化する道路施設について、どのように取り組むべきか、あなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。

「こまめに点検し、早めに補修することで、安全性を高い水準で維持し、施設を長持ちさせる」と「点検を実施し、安全性が低下している場合、次回の点検までに補修をする」と回答した方が約 8 割を占めており、予防保全的に道路施設の維持管理に取り組むべきと考えている方が全体の半数以上を占めている。

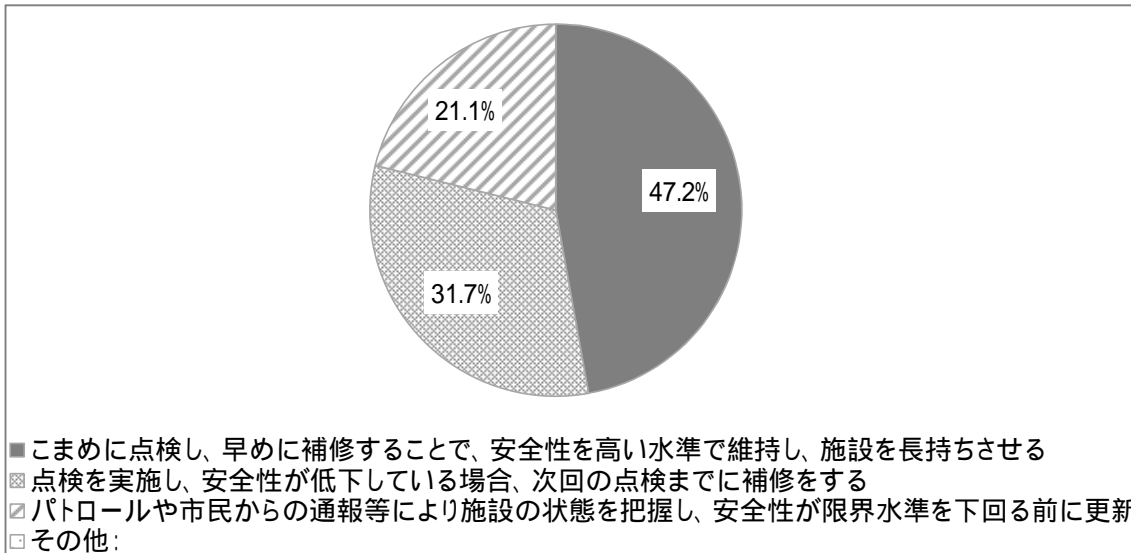


図 2-12 問 12 の回答結果

< 問 10 とのクロス解析 >

道路施設の老朽化の認知度について「よく知っている」と回答した方の約 7 割が「こまめに点検し、早めに補修することで、安全性を高い水準で維持し、施設を長持ちさせる」を選択している。道路施設の老朽化に関する認知度がある方ほど予防保全的な管理に取り組んだ方がよいと回答している。

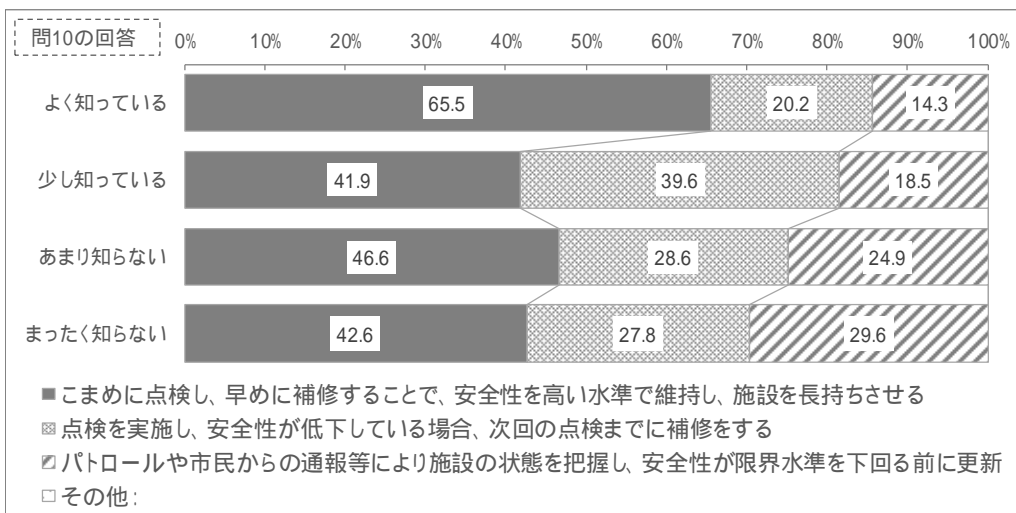


図 2-13 道路施設の老朽化に対する認知度と取り組むべき維持管理の方針の関係

< 問 11 とのクロス解析 >

普段生活するなかで道路施設の老朽化を「意識している」と回答した方の約 7 割が「こまめに点検し，早めに補修することで，安全性を高い水準で維持し，施設を長持ちさせる」を選択している。道路施設の老朽化に対する意識が高い方ほど予防保全的な維持管理に取り組んだ方がよいと回答している。

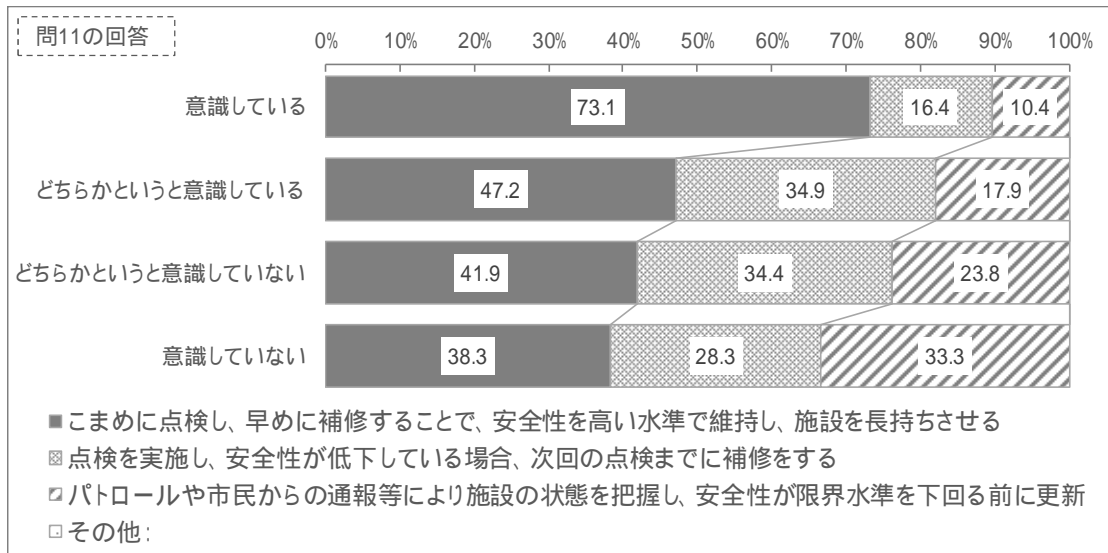


図 2-14 道路施設の老朽化に対する意識と取り組むべき維持管理の方針の関係

2.4 調布市道の維持管理に関する市民の満足度について

問 13) あなたが普段生活しているなかで、調布市道の維持管理についてどう感じていますか。

「概ね管理出来ている(どちらかという満足)」と回答した方が約 6 割を占めており、「十分に管理出来ている(満足)」と回答した方と合わせると、全体の約 7 割が管理出来ていると回答している。

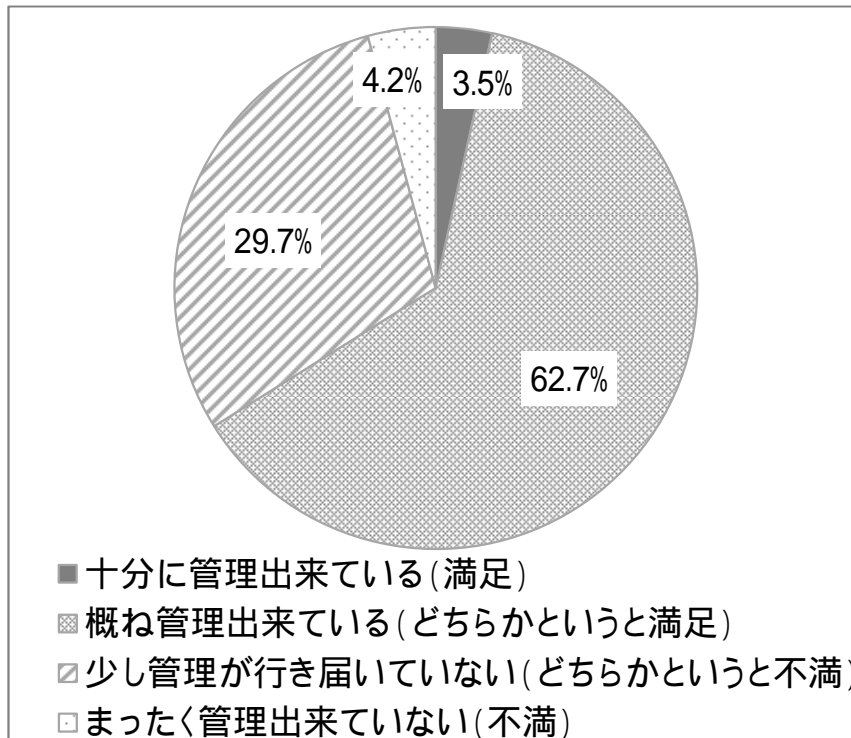


図 2-15 問 13 の回答結果

<問 10 とのクロス解析>

道路施設の老朽化の認知度について「少し知っている」と「あまり知らない」と回答した方の約 7 割が管理出来ていると回答している。

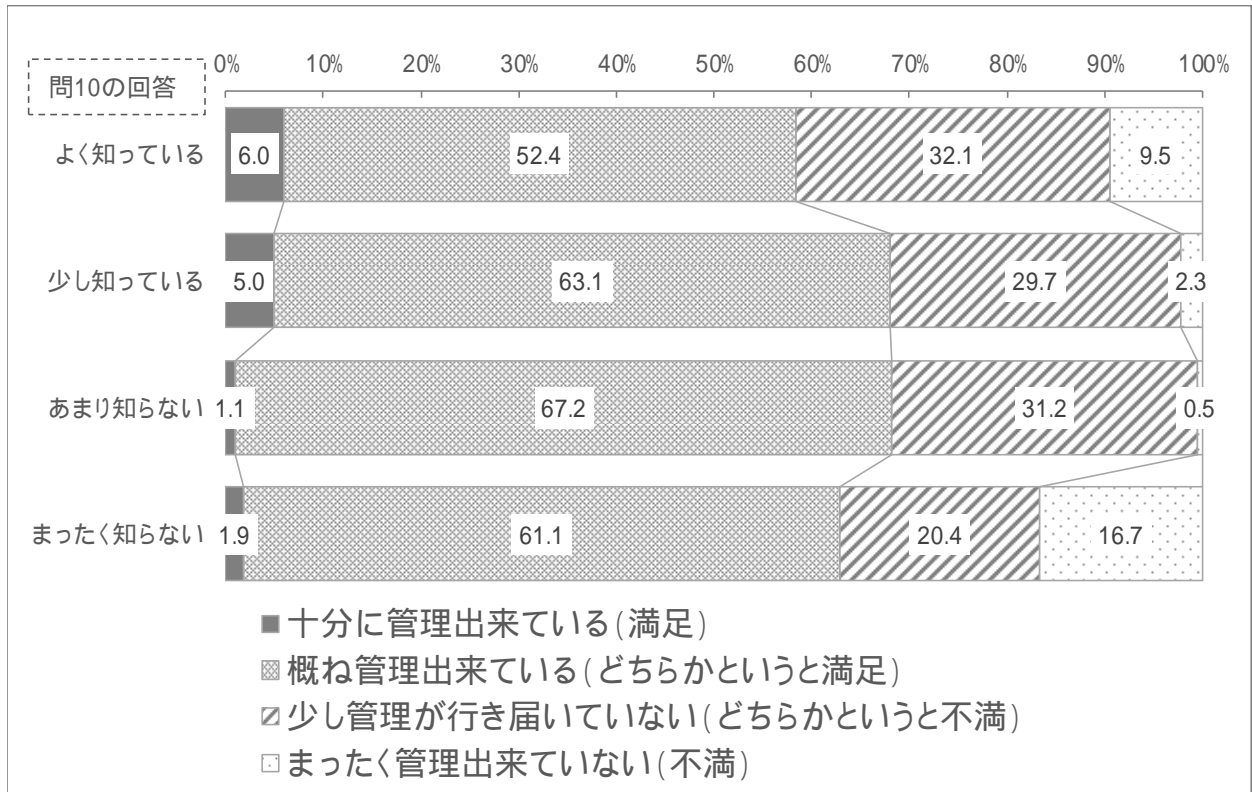


図 2-16 道路施設の老朽化に対する認知度と調布市道の維持管理に対する満足度の関係

<問 11 とのクロス解析>

普段生活するなかで道路施設の老朽化を「意識している」と回答した方の約 6 割、「どちらか」と意識している」と回答した方の約 4 割が管理出来ていないと回答している。路施設の老朽化に対する意識が高いほど調布市道の維持管理に対する満足度が低く、意識が低いほど満足度が高い傾向が見られる。

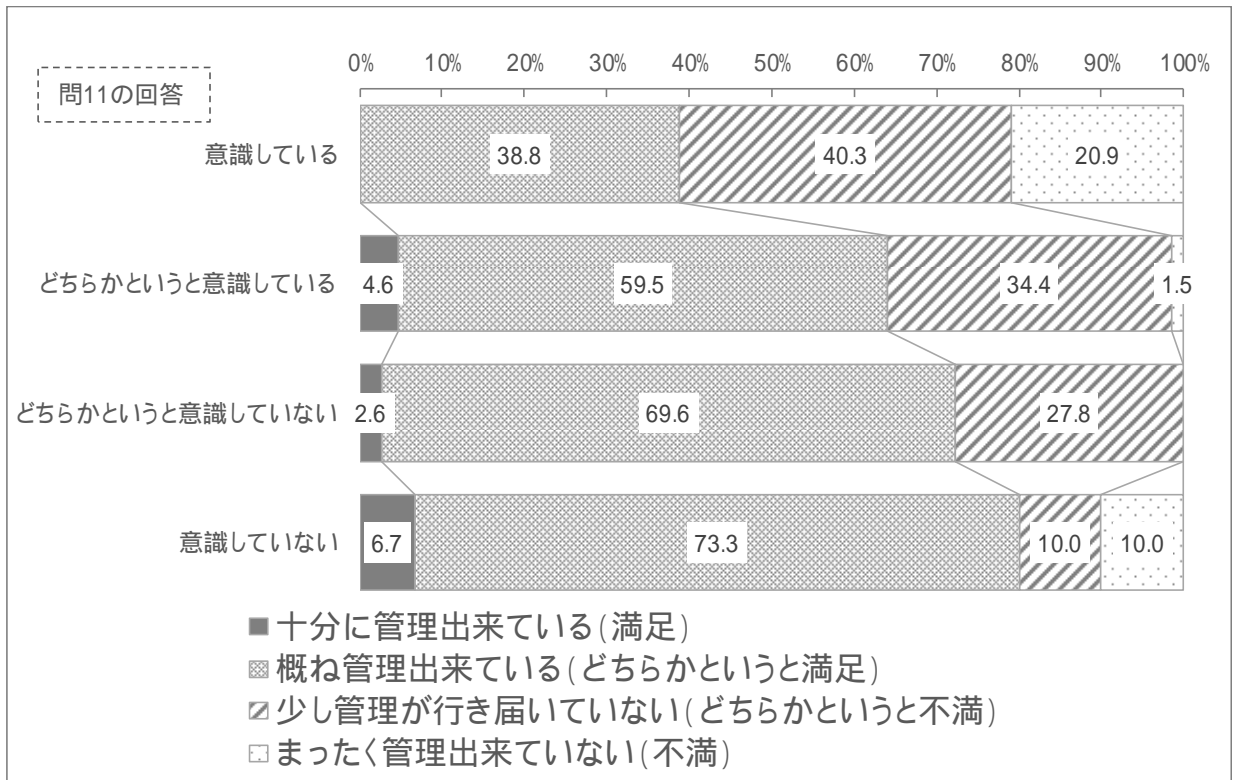


図 2-17 道路施設の老朽化に対する意識と調布市道の維持管理に対する満足度の関係

問 14) 調布市道の道路管理全般について、あなたが日ごろ感じていることや、その他全体で気付いたことがあればご記入ください。(感想、要望、等)

1) 回答数

全 550 サンプル中、問 14 の回答率(問 14 に何らかの意見を記入いただいた人数の割合)は 57.3%である。

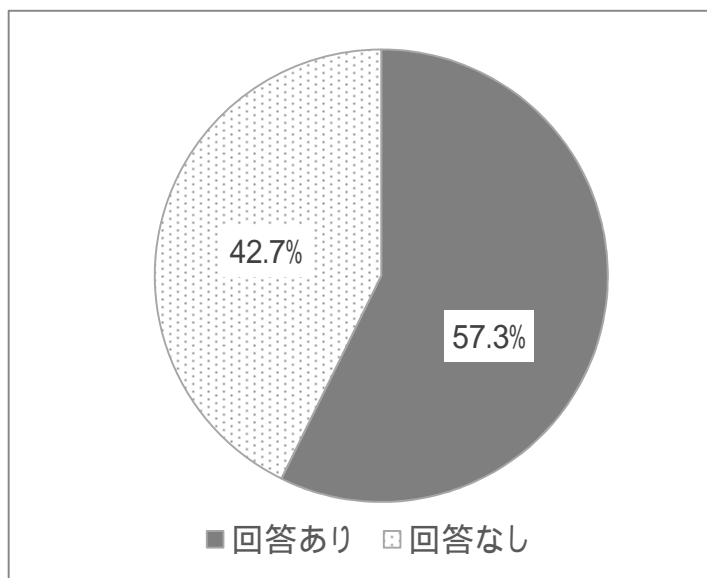


図 2-18 問 14 の回答割合

問 14 で得た回答の中には、「特になし」「わからない」という回答や、1つの回答の中に複数の内容の意見が含まれているものがありました。そのため、「特になし」「わからない」という回答は意見として扱わず、1つの回答の中に複数の内容の意見が含まれるものについては、個別にばらし、複数の意見としてカウントし改めて集計しました。

2) 回答結果

意見の対象について着目すると、道路に対する意見が最も多く、次いで道路施設全般、街路樹となっている。

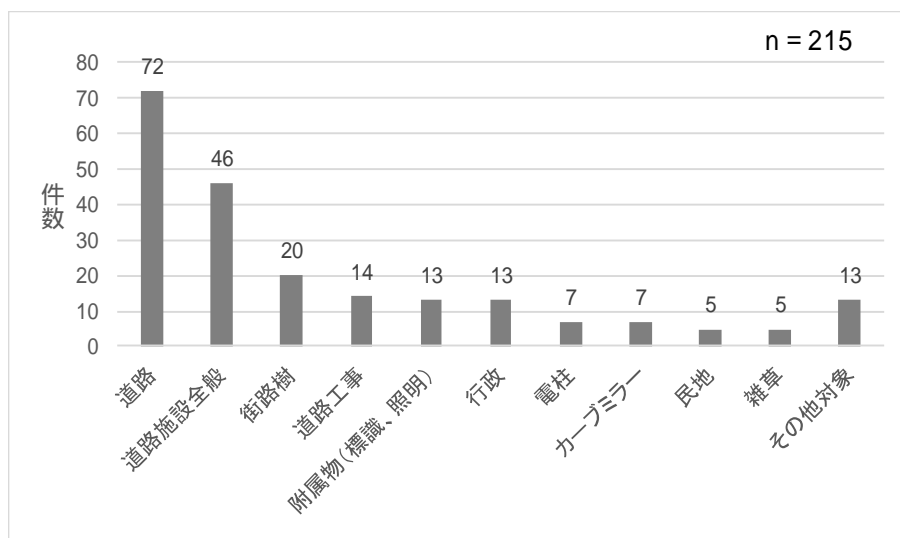


図 2-19 意見の対象の内訳

3) 意見の内容

問 14 で回収した意見の内容について、内訳を以下に示す。意見の内容としては、「道路施設全般の維持管理」が最も多い。

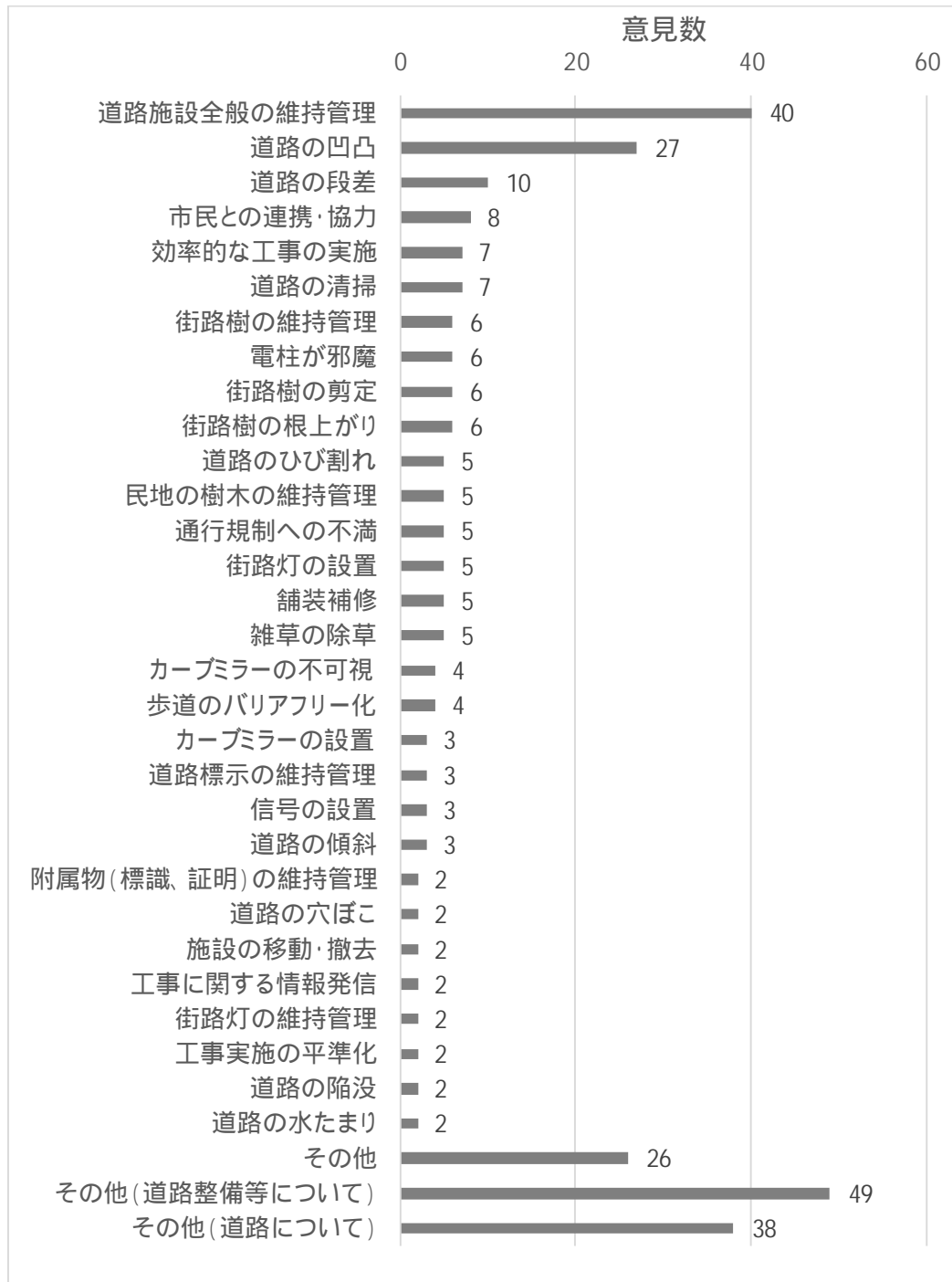


図 2-20 自由意見の内訳